

2023年度さいたま支部年次総会と特別講演

2023. 4. 16

4月16日、コロナ禍第8波が収束したことから、久しぶりに対面方式で支部総会及び特別講演会を開催しました。

【 さいたま支部総会 】

14:10～14:50

深瀬 川越支部長、麻生 川越副支部長、吉田 熊谷副支部長、倉林 平塚支部長にもご出席をいただき、さいたま支部出席者計10名にての支部総会となりました。

まず、小西連合副支部長から、さいたま支部総会の前に開催された埼玉県連合支部総会において、連合支部長が白澤氏から小西への交代が承認された旨の報告がありました。

さいたま支部総会の議題について、2022年度の活動報告および2022年度決算・監査報告がなされ、承認されました。

さらに、2023年度年度の活動計画および2023年度予算が提案され、ともに承認されました。

2023年度行事では、さいたま支部は主催幹事として、7月の勉強会（講演会）と11月の「歴史と人形の街岩槻」散策を担当します。



さいたま支部では、ここ数年で、昭和50年代卒の年代の方が行事に参加していただけるようになってきました。本支部総会に初めて参加の50年代卒の方が3名おられ、うち1名は女性の方で、対面方式では初めての参加です。

【 特別講演 】

15:00～16:50

続く講演会では、2017年7月、8月のブラタモリの秩父編、長瀬編で学芸員として出演された埼玉自然の博物館学芸主幹の井上先生にご講演いただきました。

演題 : 『ブラタモリに学ぶ地球科学の魅力の伝え方

— 秩父・長瀬の自然を題材として—』

講師: 井上 素子 氏 埼玉県立自然の博物館 学芸主幹

埼玉県連合支部ではブラタモリ秩父編長瀬編の翌年の2018年11月に埼玉県自然の博物館見学と長瀬散策（紅葉見物）を行いました。なんとなく縁を感じます。

長瀬では石畳や秩父赤壁が有名ですが、節理、片理や褶曲、岩の種類・名称など、地理・地学などに余り縁がないと少しとつきにくいところはあるかもしれませんが、写真や図解画像も交え、秩父や長瀬の地形的な歴史についてわかりやすくお話していただきました。講演後に質問時間を設けましたが、時間が足らなくなるほど質問があり、皆さんの地域の地形・歴史に関心が高いことが伺えました。

先生はブラタモリに出演して、「学芸員としては、つい『正確さ』に固執してわかりにくくしてしまいがちになるが、『ストーリーに関係ないことは容赦なく切る！ 説明も、極限までシンプルに！』という姿勢が非常に勉強になった」と言われていました。

来年の秋の紅葉時期に長瀬の現地で、石畳や地形の成り立ちについて、講師の井上先生に解説をしてもらってはという提案もありました。



後列左より 森本(54C) 麻生(53W 川越支部) 倉林(42C 平塚支部) 松原(修56C)
栗原(51C 秩父支部) 萩原(修58W) 新井(56C) 大竹(54L) 長谷川(52P)
前列左より 吉田(44C 熊谷支部) 金子(30C) 講師 井上先生
小西(修49C) 深瀬(37W 川越支部) 井上(修54L)

【 懇親会 】

17:00～19:00

コロナ禍ですっとできなかった懇親会を
久ぶりに開催することができました。

講師の井上素子先生にも参加いただけ、
講演について、さらなる質問やブラタモリ
出演の先生の感想に同感する意見もでて、
話が弾みました。

参加された皆さん、やはり久しぶりの懇親
の場だったようで、会話も盛り上がり楽しい時を
過ごしました。



(さいたま支部長 小西憲二 修 49C 記)